

建設業団体によるテックフォース(TEC-FORCE)活動支援が始まります！

～ 国土交通省中部地方整備局と建設業3団体が

テックフォース活動支援に関する協定を締結 ～

近年、頻発・激甚化する自然災害や南海トラフ地震の発生に備え、中部地方整備局と建設業3団体は、業界団体によるテックフォースの活動内容を具体化するため新たに協定を締結しました。

この協定締結により、建設業団体によるテックフォース活動の対象構造物、調査報告内容など具体的な支援内容を決定しました。

※テックフォース(TEC-FORCE)とは、大規模自然災害が発生又は発生するおそれが生じた場合、いち早く被災地へ出向き、被災自治体などからの支援ニーズを把握し、円滑かつ迅速な応急復旧のための被災状況調査や災害対策機械による応急対策及び技術的助言等を行う緊急災害対策派遣隊の略称です。

このうち被災状況調査においては、現状では原則、国の職員により実施しています。

1. 内 容

- ① 協定の名称 「中部地方整備局のテックフォース活動支援に関する細目協定」
- ② 締結の相手 一般社団法人日本建設業連合会中部支部
一般社団法人日本橋梁建設協会
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会 中部支部
- ③ 協定の内容 【別紙参照】
- ④ ポ イ ン ト これまで被災状況調査は、職員により実施していましたが、今後は一部の大規模構造物の被災状況調査を建設業団体に支援してもらうことが可能となり、これにより、被災状況を把握する期間短縮が見込まれます。

2. 配 布 先 中部地方整備局記者クラブ

3. 問 合 せ 先 災害対策マネジメント室長 中川哲也(なかがわ てつや)
災害対策マネジメント室長補佐 増田進一(ますだ しんいち)
Tel. 052(685)0533

○大規模自然災害に備え、中部地方整備局と建設業団体は、「中部地方整備局のテックフォース活動支援に関する細目協定」を締結しました。
 ○この協定締結により、**建設業団体によるテックフォース活動の対象構造物、調査報告内容など具体的な支援内容を決定しました。**

細目協定の概要

細目協定ではテックフォース活動における下記の事項等を取り決めました。

■支援の範囲

中部地方整備局管内の公共土木施設における災害又は事故発生箇所

■支援の要請方法

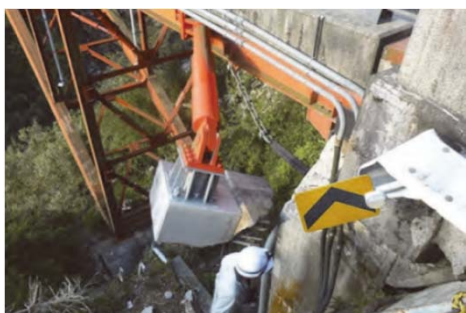
■支援の内容

- ・被災状況調査、調査結果報告書の提出
- ・復旧にかかる概算費用の提示

■対象構造物

- ・日本建設業連合会→トンネル構造物
- ・日本橋梁建設協会→鋼橋上部または鋼製橋脚
- ・プレストレスト・コンクリート建設業協会→PC構造物

・大規模構造物の被災状況調査は**建設業団体**が実施。

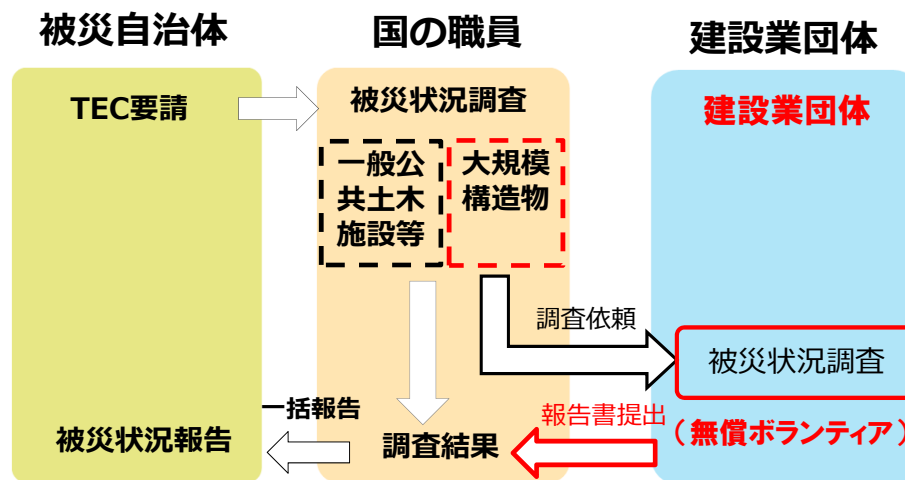


橋梁被災状況



トンネル被災状況

テックフォース連携イメージ



期待される活用効果

■被災状況調査の期間短縮

◆調査期間短縮イメージ

橋梁等大規模構造物は被災状況調査に1~2日/箇所を要する状況

調査期間	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日~
国の職員	被災箇所 5箇所	被災箇所 5箇所	大規模構造物 1箇所	被災箇所 5箇所	被災箇所 5箇所	被災箇所 5箇所	大規模構造物 1箇所	

建設業団体TEC導入

調査期間	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日~
国の職員	被災箇所 5箇所	被災箇所 5箇所	被災箇所 5箇所					
建設業団体	大規模構造物 2箇所							

調査期間の短縮

建設業団体による調査員の増員、専門技術者の活用により被災状況調査の期間を短縮

別紙-参考 [建設業団体コメント]

「中部地方整備局のテックフォース活動支援

に関する細目協定」の締結に関する建設業団体のコメント

□一般社団法人日本建設業連合会中部支部

役職：総務委員会 主査 氏名：藤井祐紀

日本建設業連合会中部支部は、会員各社の力を集結し、これまで蓄積された施工経験を活かし、被災施設等復旧にお役に立てるよう、迅速かつ適切に被災状況調査等の支援を行ってまいります。

□一般社団法人日本橋梁建設協会

役職：保全委員会 幹事長 氏名：本間 順
広報委員会 幹事長 白石 薫

日本橋梁建設協会はこの活動に賛同し、地域の皆様のために、大規模自然災害が発生又は発生するおそれが生じた場合、会員各社力を合わせて、鋼橋の復旧対策活動や応急対策及び技術的助言等を行って参ります。

□一般社団法人プレストレスト・コンクリート協会中部支部

役職：支部長 氏名：梅田 勇人

PC構造物の施工・点検・補修経験を活かし、施設管理者と密に連絡を取り、既存保有データを活用し、迅速な支援活動に努めてまいります。